

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
407	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Hypoxia inducible factor-1alpha gene polymorphism G1790A and its interaction with tobacco and alcohol consumptions increase susceptibility to hepatocellular carcinoma.低酸素誘導因子-1α 遺伝子多型 G1790A とタバコ・飲酒量の交互作用により肝細胞癌感受性は高まる	
執筆者	
Hsiao PC, Chen MK, Su SC, Ueng KC, Chen YC, Hsieh YH, Liu YF, Tsai HT, Yang SF.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Surg Oncol. 2010 Aug 1;102(2):163-9.	
キーワード	
低酸素誘導因子-1α、肝細胞癌、遺伝子多型	
要 旨	
<p><b>背景と目的：</b>  この研究の目的は、2つの低酸素誘導因子 1 alpha (HIF-1alpha) 遺伝子多型、C1772T、G1790A と肝細胞癌感受性および臨床病理所見との関連を検討することである。</p> <p><b>方法：</b> 347名の健常コントロールと 102名の肝細胞癌患者を含む、449名の登録者において、これら2つの遺伝子多型がPCR-RFLP分析により解析され、肝細胞癌への影響が検討された。</p> <p><b>結果：</b>  G1790A ヘテロ多型は、他の交絡因子を調整した後もGG遺伝子型と比べ、高い肝細胞癌のリスクを示した(調整オッズ比 = 3.97; 95%信頼区間 = 1.70-9.22)。これは肝細胞癌とG1790A多型との重要な関係を示すものである。さらに、HIF 1alpha G1790Aの遺伝子多型は、タバコおよびアルコールなどの環境リスク要因との肝細胞癌リスクに対する相乗効果を示した。一方、HIF 1alpha 遺伝子多型と肝細胞癌の臨床病理パラメーター間に有意な関連は認められなかった。</p> <p><b>結論：</b>  HIF-1alpha 遺伝的多型 G1790A は肝細胞癌感受性を決定する重要な要因である。G1790A ヘテロ多型とタバコ・アルコール摂取量との交互作用効果により、肝細胞癌リスクは大幅に上昇した。</p>	